

令和4年度版

当別町農林業の動向

当 別 町



# 目 次

## 令和4年度版 当別町農林業の動向

	ページ数
1 耕地面積	1
2 農家戸数、認定農業者、認定新規就農者数及び 農地所有適格法人数	2
3 水稲作付面積及び転作実施面積	3～4
4 水稲作付面積	
(1) 品種別	5
(2) 用途別	6
5 米の等級別出荷数量実績	7
6 小麦作付面積（春秋別）	8
7 転作作物（野菜部門）の作付面積	9
8 花き生産の概要	10～11
9 家畜飼養状況	12～13
10 農業産出額の状況（農林水産省推計値）	14
11 鳥獣被害の状況	15～16
12 民有林資源構成表	17
13 森林面積及び蓄積	17

## 当別町の紹介



当別町の歴史は、明治4年、仙台藩岩出山（現在の宮城県大崎市）の領主・伊達邦直公が家臣とその家族を率いて入植したことから始まります。農業を基幹産業とした本町は、明治35年頃には当時の札幌支庁管内で最も豊かな農村へと発展しました。

現在、当別町は北海道最大の都市札幌市と隣接し、札幌都心部からJRで約40分、車で約40分とアクセスに優れ、札幌への通勤通学圏内であると同時に石狩湾新港と新千歳空港を結ぶ国道337号と、道北方面に通じる国道275号が交差する交通の要衝でもあります。また、令和4年3月12日に北海道内の在来線では20年ぶりの新駅であるロイズタウン駅が開業となっています。

当別町の行政面積は42,286haとなっています。また、当別町の令和3年度の耕地面積は、8,520haと全体の約20%を占めています。

当別町の大地は豊かな水と石狩平野の一部という恵まれた土地条件を活かした水田・畑作や花きを中心とする農業を展開しているのが特徴です。

# 1 耕地面積

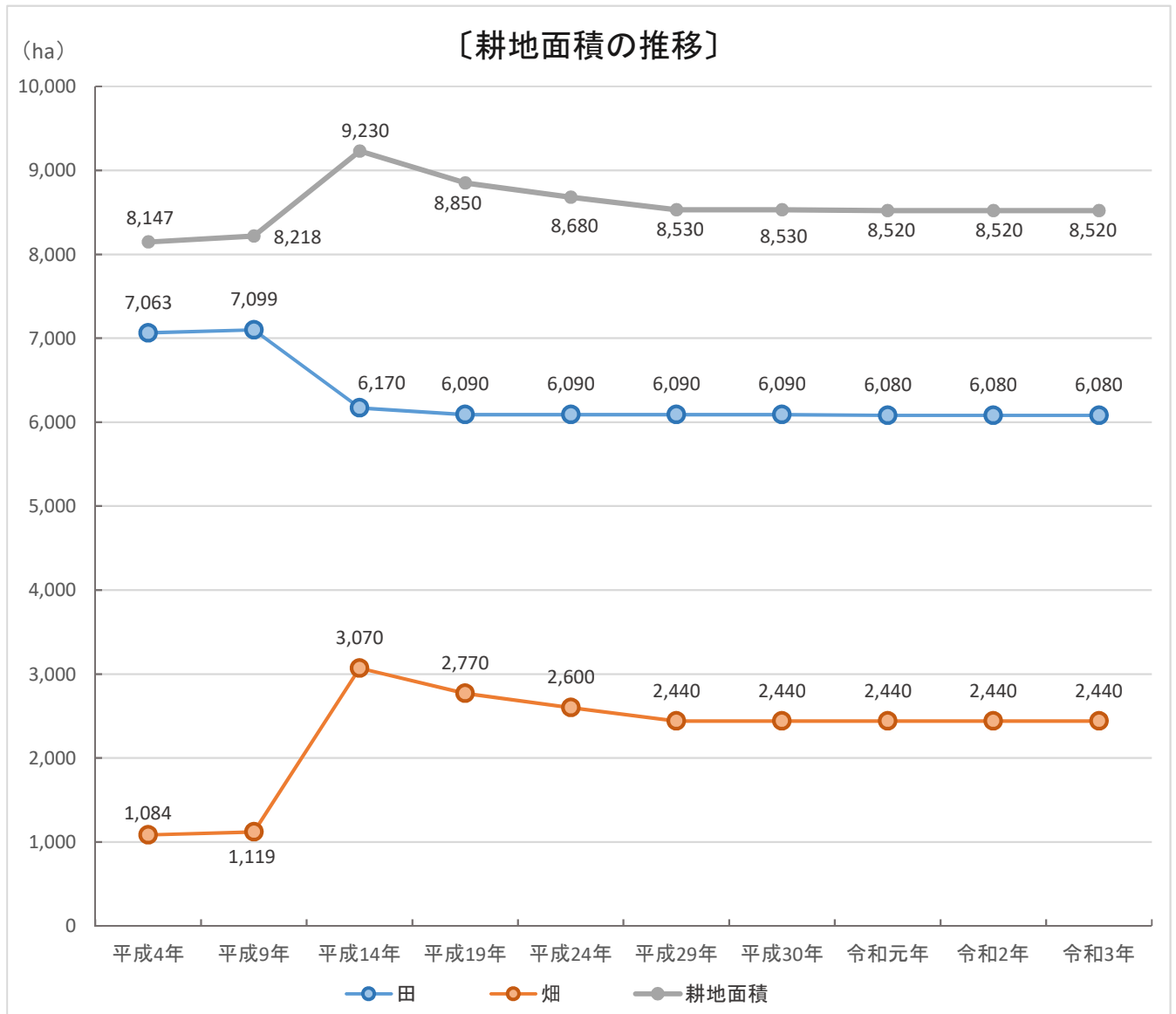
単位: ha

年度	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
耕地面積	8,147	8,218	9,230	8,850	8,680	8,530	8,530	8,520	8,520	8,520
田	7,063	7,099	6,170	6,090	6,090	6,090	6,090	6,080	6,080	6,080
畑	1,084	1,119	3,070	2,770	2,600	2,440	2,440	2,440	2,440	2,440

資料: 作物統計調査 農林水産統計年報 平成3年～平成12年度: 農業基本調査

畑: 普通畑、樹園地、牧草畑

※数値は、端数処理のため、合計と内訳の計が一致しないことがあります。



当別町の耕地面積は8,520haで、そのうち70%は田となっています。

## 2 農家戸数、認定農業者、認定新規就農者数及び農地所有適格法人数

### (1) 農家戸数及び農家1戸当り耕地面積

単位: 戸・ha

年度	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
戸数	1,123	1,082	950	672	594	506	498	483	475	462
農家1戸当り 耕地面積	7.3	7.6	9.7	13.2	14.6	16.9	17.1	17.6	17.9	18.4

資料 町農務課

### (2) 認定農業者数及び認定新規就農者数

単位: 戸・人

年度	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
認定農業者	-	54	102	367	377	371	346	335	322	311
うち法人	-	9	18	38	43	40	39	40	40	40
うち女性	-	1	2	9	6	9	6	9	6	9
うち共同	-	0	0	39	54	52	53	46	39	41
認定新規 就農者数	-	-	-	-	-	10	8	7	7	5

資料 町農務課

※農業経営基盤強化促進法に基づく認定新規就農者数(認定期間:5か年の延べ人数)

※空白はデータなし

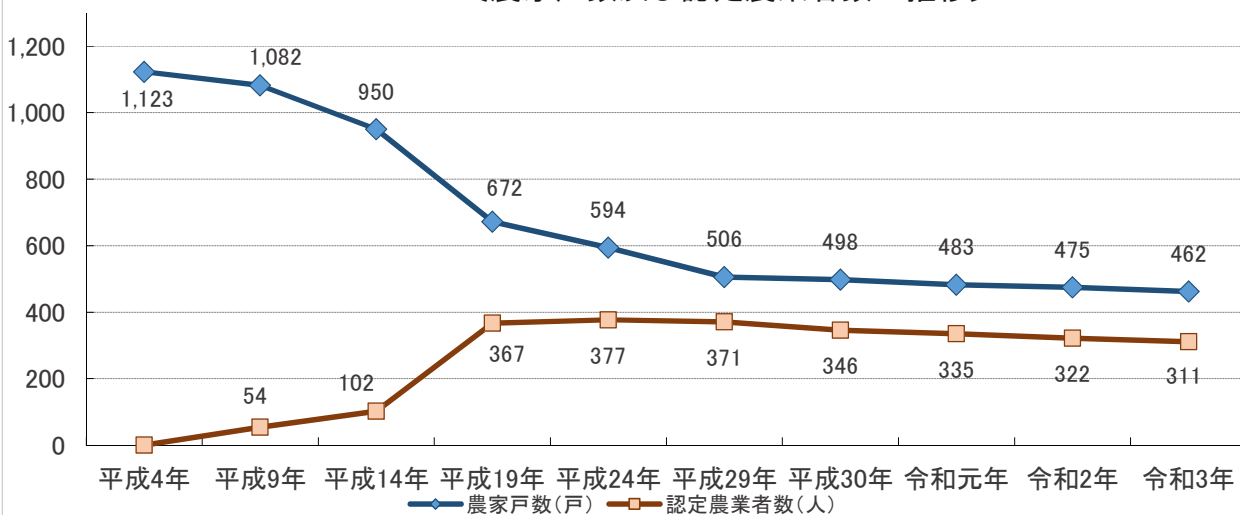
### (3) 農地所有適格法人数

年度	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
農地所有適格法人	-	-	-	-	-	44	44	46	47	46

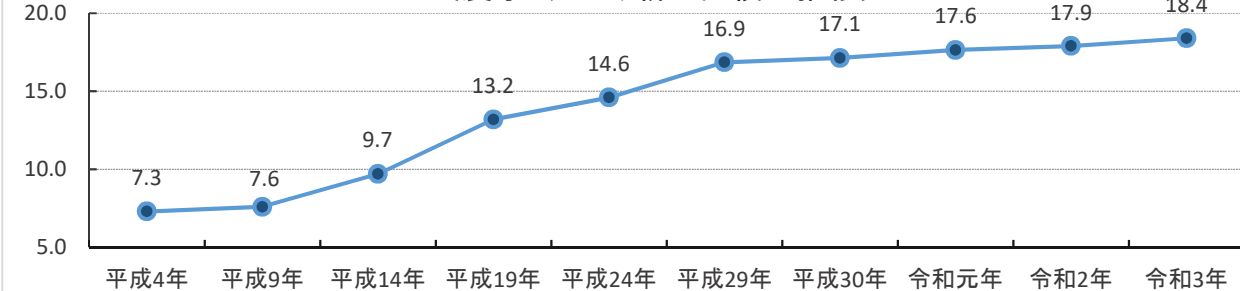
資料 町農務課

※農地所有適格法人は、平成28年4月1日施行の改正農地法に基づき定義された。

〔農家戸数及び認定農業者数の推移〕



〔農家1戸当り耕地面積の推移〕



当別町の農家戸数は減少傾向にあり、令和3年度は462戸となっています。このうち認定農業者は、311戸に減少となっています。

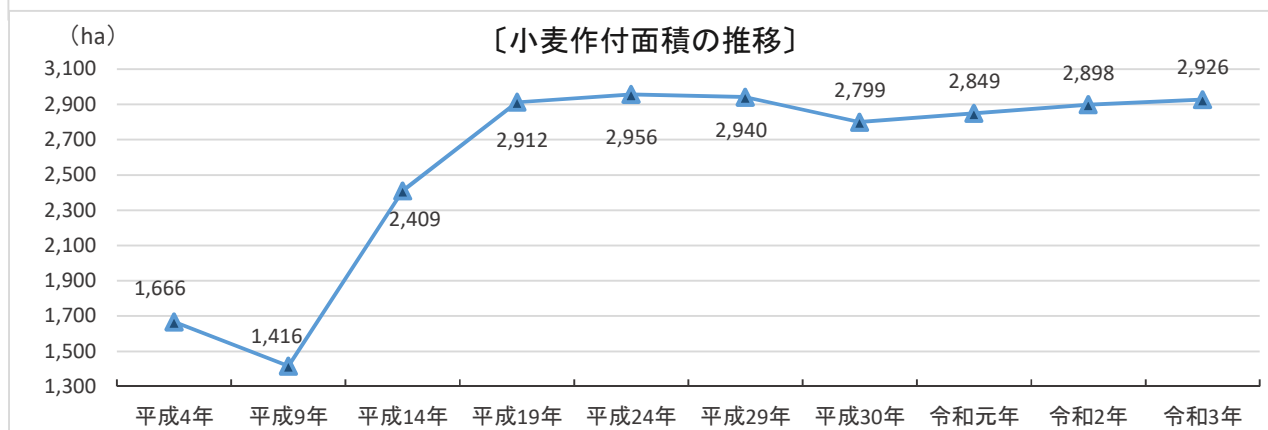
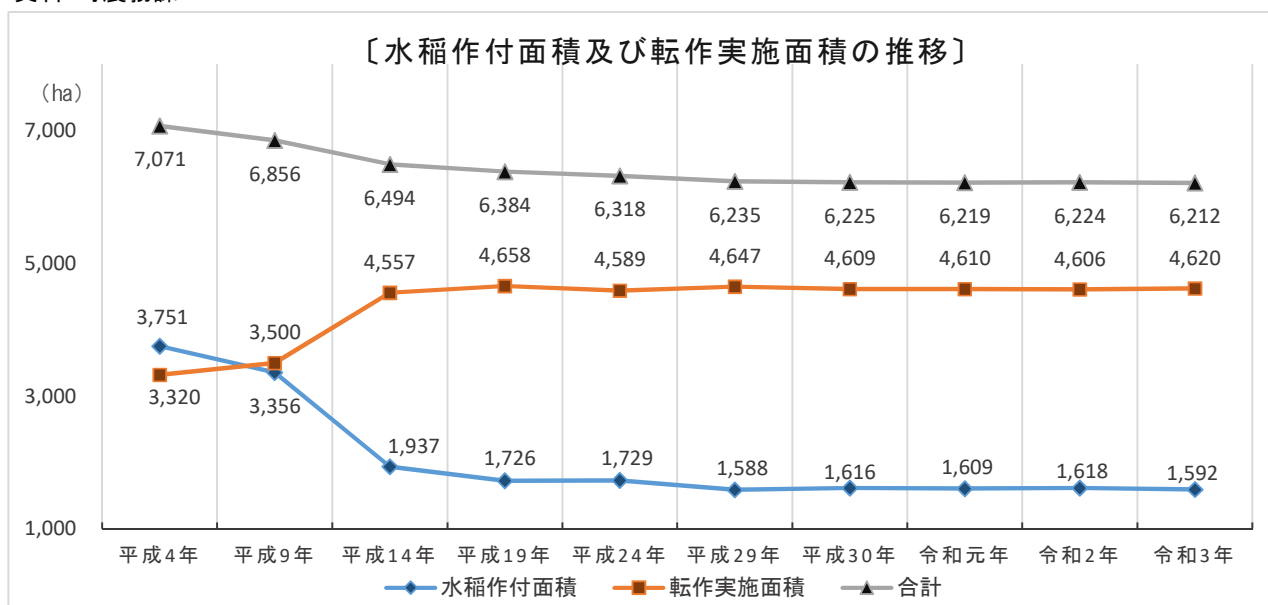
また、農家1戸当たりの耕地面積は、令和3年度は18.4haと平成14年度(20年前)の約2倍になっています。

### 3 水稲作付面積及び転作実施面積

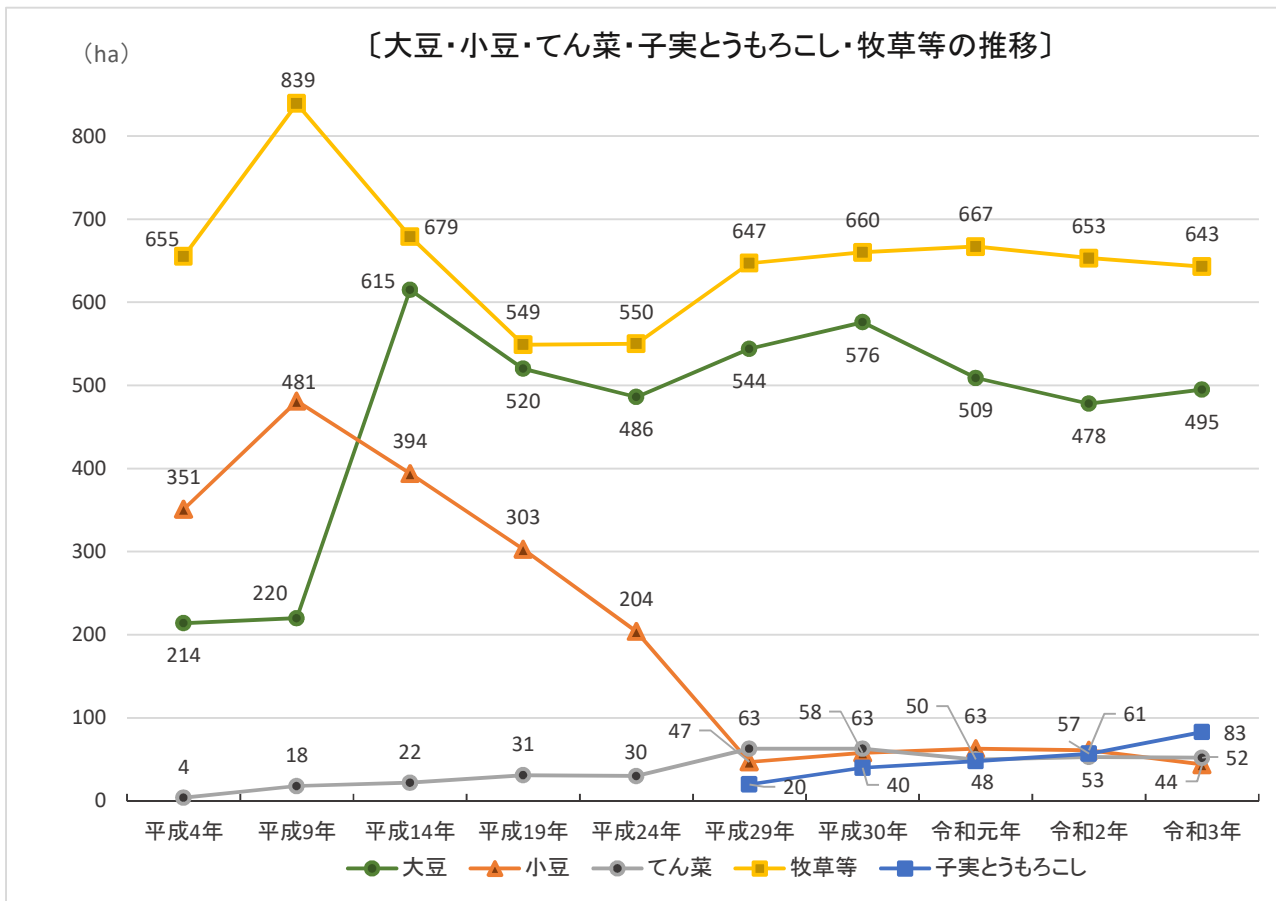
単位:ha

区分 年度	水稲作付面積		転作実施面積	転作作付面積内訳(新規需要米等を除く)								
		うち主食用		小麦	大豆	小豆	てん菜	野菜	花き	牧草等	子実とうもろこし	その他
平成4年	3,751	-	3,320	1,666	214	351	4	-	49	655	-	381
平成9年	3,356	-	3,500	1,416	220	481	18	-	78	839	-	448
平成14年	1,937	1,937	4,557	2,409	615	394	22	52	70	679	-	316
平成19年	1,726	1,726	4,658	2,912	520	303	31	217	79	549	-	47
平成24年	1,729	1,697	4,589	2,956	486	204	30	219	88	550	-	55
平成29年	1,588	1,547	4,647	2,940	544	47	63	247	74	647	20	65
平成30年	1,616	1,564	4,609	2,799	576	58	63	277	74	660	40	63
令和元年	1,609	1,542	4,610	2,849	509	63	50	289	69	667	48	67
令和2年	1,618	1,542	4,606	2,898	478	61	53	274	68	653	57	64
令和3年	1,592	1,440	4,620	2,926	495	44	52	263	69	643	83	45

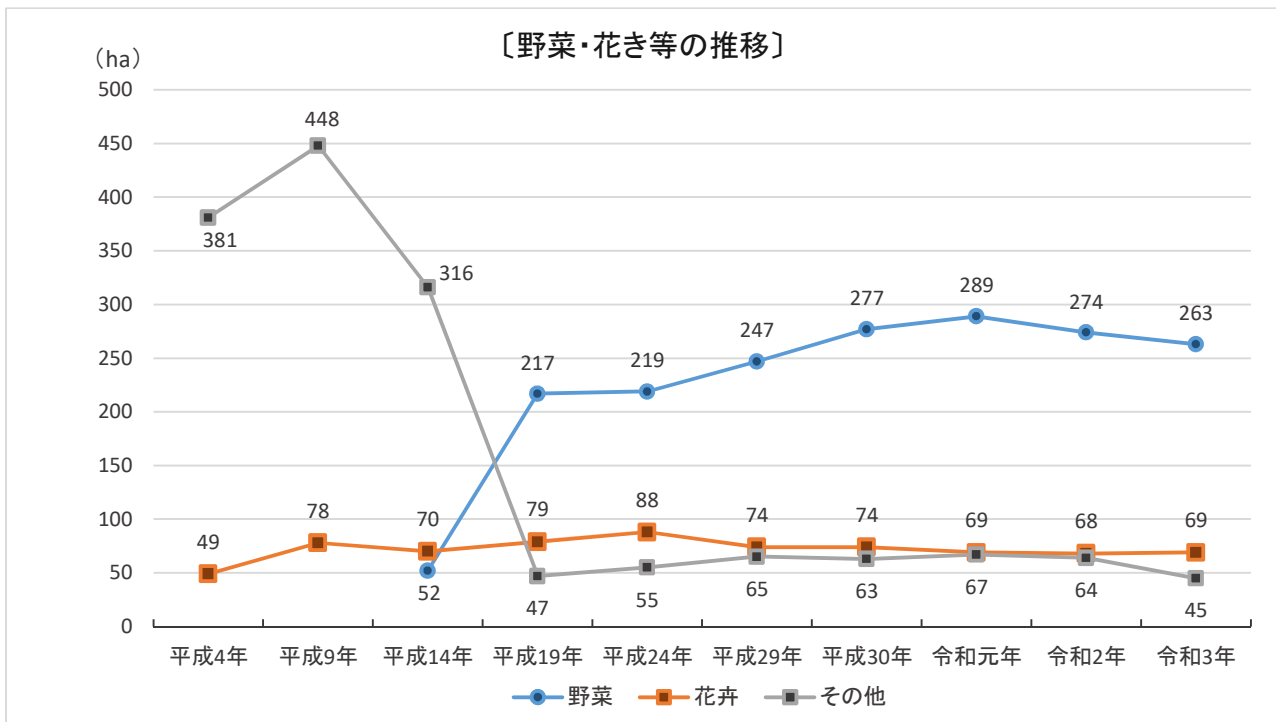
資料:町農務課



当別町の転作実施面積のうち小麦作付面積は、平成30年度以降増加傾向となっています。



当別町の転作作付面積のうち、子実とうもろこしは増加傾向となっています。また、大豆は令和元年度以降500ha前後となっています。



野菜の作付面積は平成17年度からのデータで、おおむね増加傾向となっていますが、令和元年度をピークに減少傾向となっています。

花きの面積の算定方法は、平成27年度から変更となっています。



## 4 水稲作付面積

### (1) 品種別

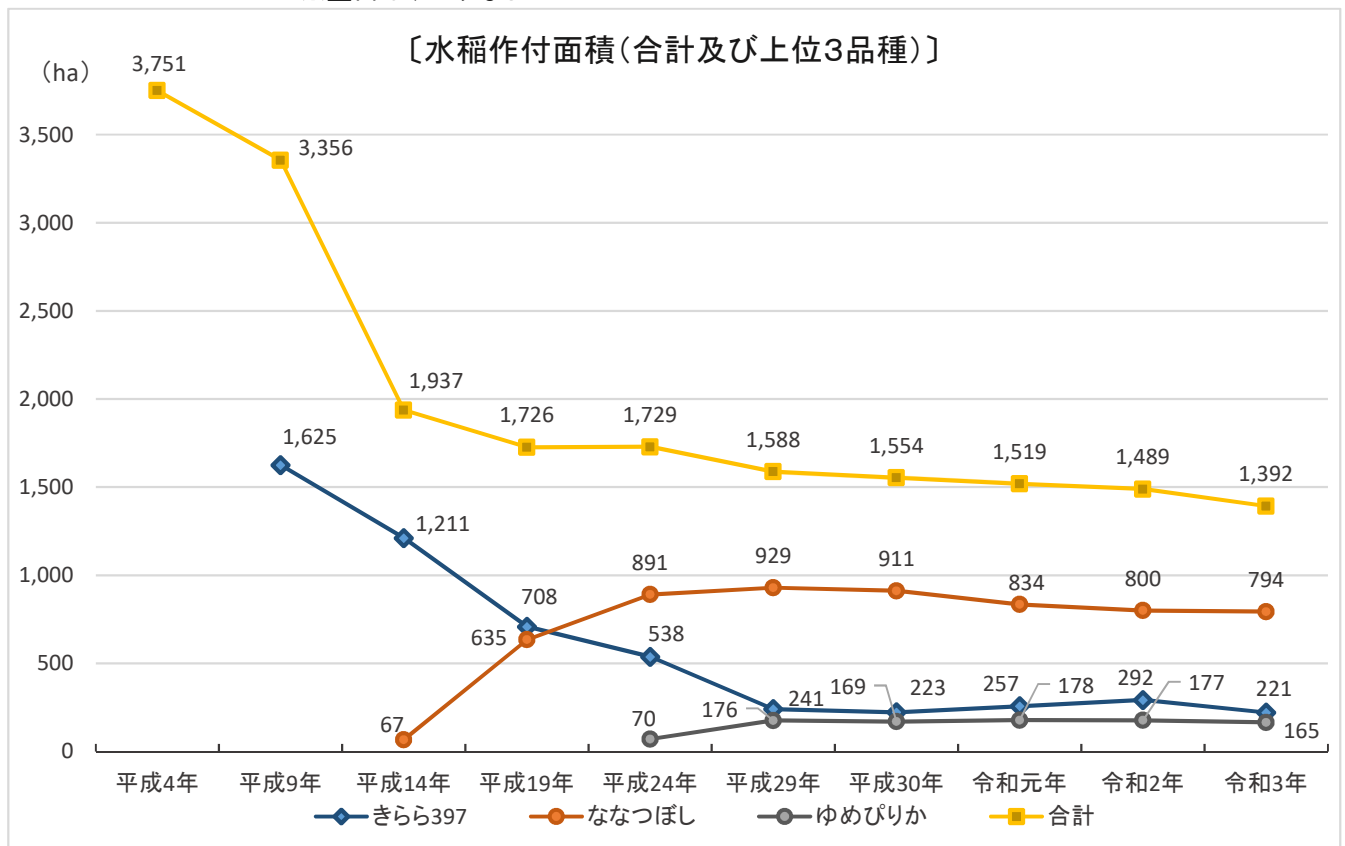
単位: ha

品種 年産	きらら397		ななつぼし		ほしのゆめ		おぼろづき		ゆめぴりか		あやひめ		その他		合計
平成4年															3,751
平成9年	1,625	48%			202	6%							1,007	30%	3,356
平成14年	1,211	63%	67	3%	383	20%							42	2%	1,937
平成19年	708	41%	635	37%	136	8%	140	8%			61	4%	46	3%	1,726
平成24年	538	31%	891	52%	27	2%	138	8%	70	4%	16	1%	49	3%	1,729
平成29年	241	15%	929	59%	7	0%	90	6%	176	11%	4	0%	140	9%	1,588
平成30年	223	14%	911	59%	6	0%	91	6%	169	11%	5	0%	149	10%	1,554
令和元年	257	17%	834	55%	5	0%	87	6%	178	12%			158	10%	1,519
令和2年	292	20%	800	54%	11	1%	69	5%	177	12%			140	9%	1,489
令和3年	221	16%	794	57%	5	0%	56	4%	165	12%			151	11%	1,392

資料: 町農務課

※加工用米及び新規需要米含む。

※空白はデータなし



当別町の水稲作付面積は、平成6年の3,993haをピークに減少に転じ、令和3年度は、1,392haとなっています。

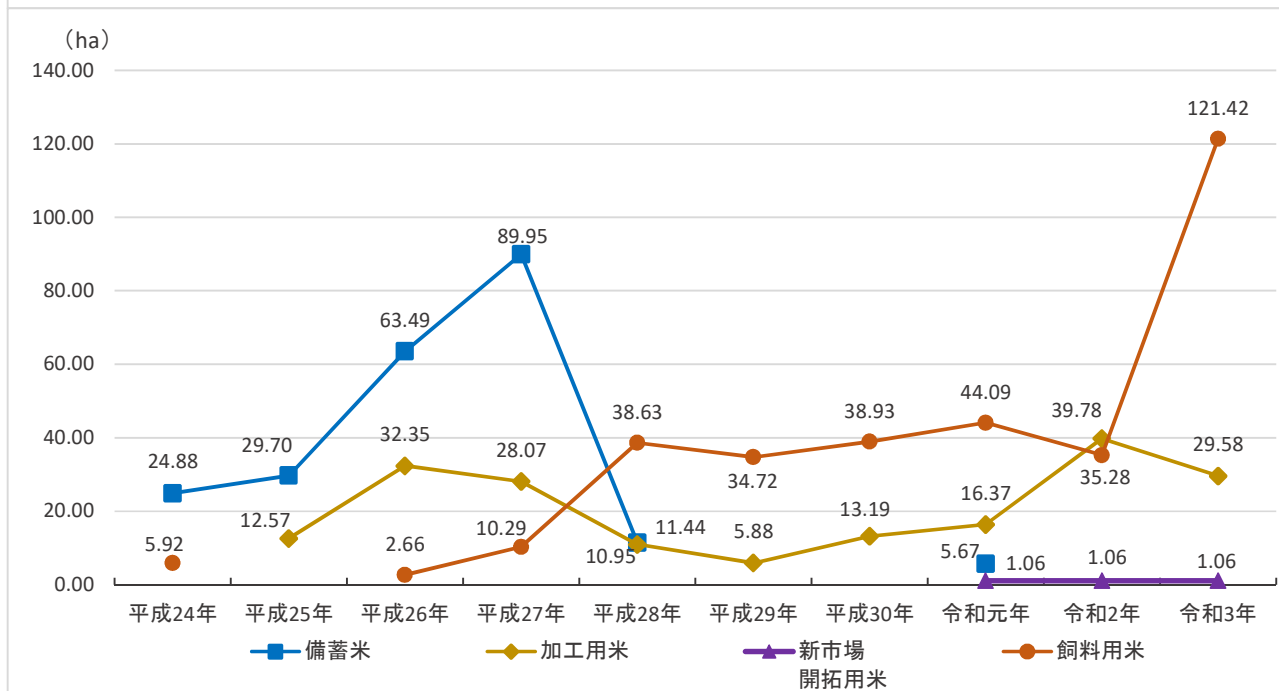
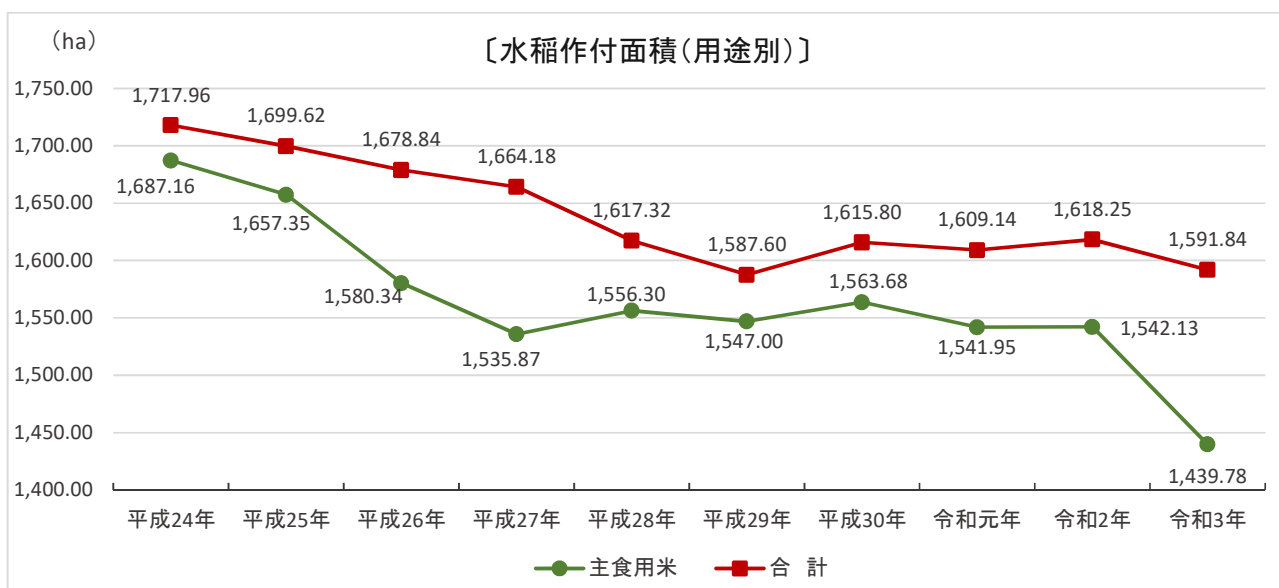
## 4 水稲作付面積

### (2) 用途別

単位: ha

年産 区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
主食用米	1,687.16	1,657.35	1,580.34	1,535.87	1,556.30	1,547.00	1,563.68	1,541.95	1,542.13	1,439.78
備蓄米	24.88	29.70	63.49	89.95	11.44			5.67		
加工用米		12.57	32.35	28.07	10.95	5.88	13.19	16.37	39.78	29.58
新市場 開拓用米								1.06	1.06	1.06
米粉用米										
飼料用米	5.92		2.66	10.29	38.63	34.72	38.93	44.09	35.28	121.42
合計	1,717.96	1,699.62	1,678.84	1,664.18	1,617.32	1,587.60	1,615.80	1,609.14	1,618.25	1,591.84

資料: 町農務課 ※空白は、作付面積無し



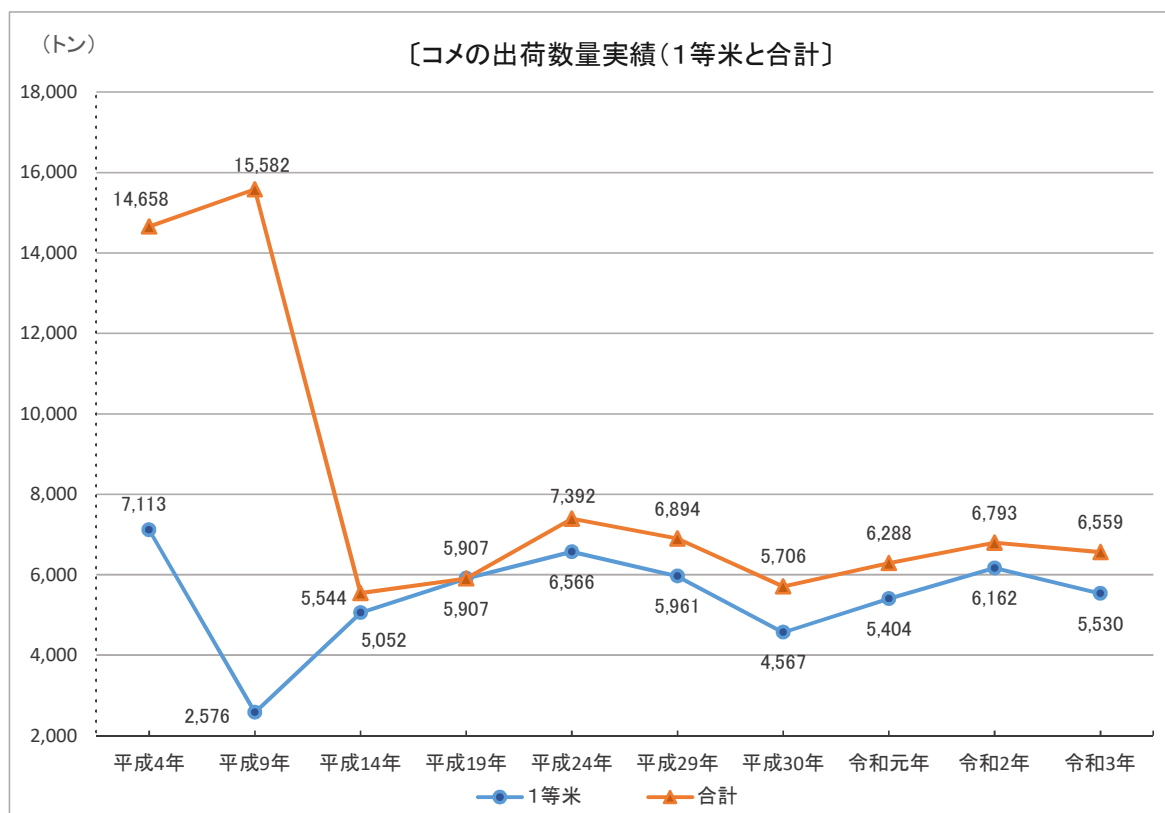
令和3年産については、新型コロナウイルス感染症の影響により主食用米の需要が大幅に減少したことを受け、飼料用米へ作付転換する取組が進められました。結果、令和2年産と比べて主食用米が大きく減少し、飼料用米が大きく増加となっています。

## 5 米の等級別出荷数量実績

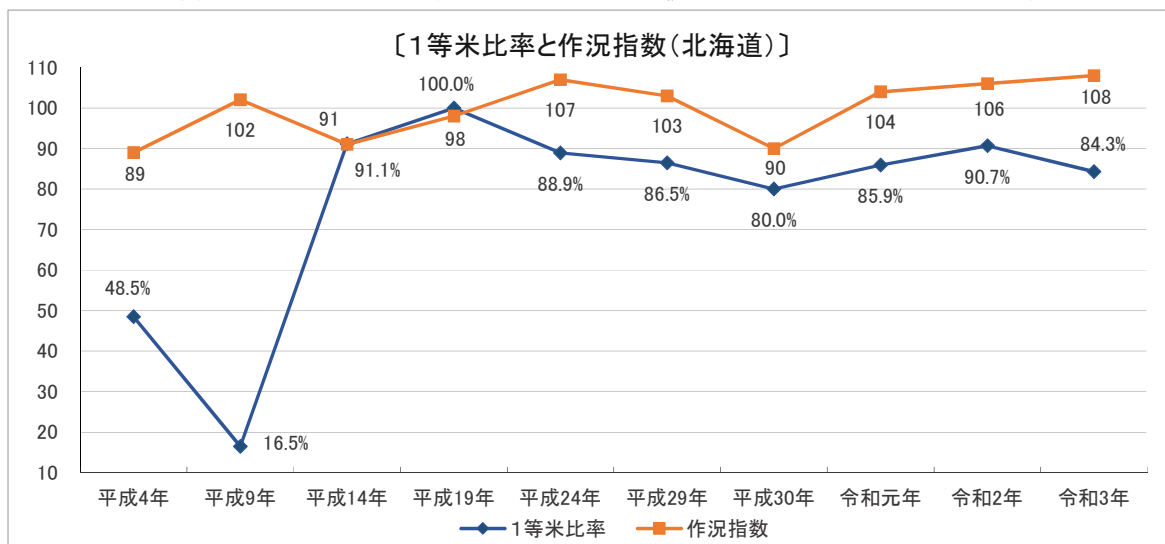
単位:t

年産	1等米		2等		3等		規格外		合計	作況指数 (北海道)
	数量	比率	数量	比率	数量	比率	数量	比率		
平成4年	7,113	48.5%	7,247	49.4%	297	2.0%	0	0.0%	14,658	89
平成9年	2,576	16.5%	8,465	54.3%	1,512	9.7%	3,030	19.4%	15,582	102
平成14年	5,052	91.1%	357	6.4%	135	2.4%	0	0.0%	5,544	91
平成19年	5,907	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5,907	98
平成24年	6,566	88.8%	89	1.2%	0	0.0%	737	10.0%	7,392	107
平成29年	5,961	86.5%	128	1.9%	0	0.0%	805	11.6%	6,894	103
平成30年	4,567	80.0%	146	2.6%	8	0.1%	985	17.3%	5,706	90
令和元年	5,404	86.0%	128	2.0%	21	0.3%	735	11.7%	6,288	104
令和2年	6,162	90.7%	81	1.2%	1	0.0%	549	8.1%	6,793	106
令和3年	5,530	84.3%	237	3.6%	1	0.0%	791	12.1%	6,559	108

資料：町農務課



当別町産米出荷数量は、平成6年産の19,476トン以来、作付面積の減少とともにおおむね3分の1の数量となっています。



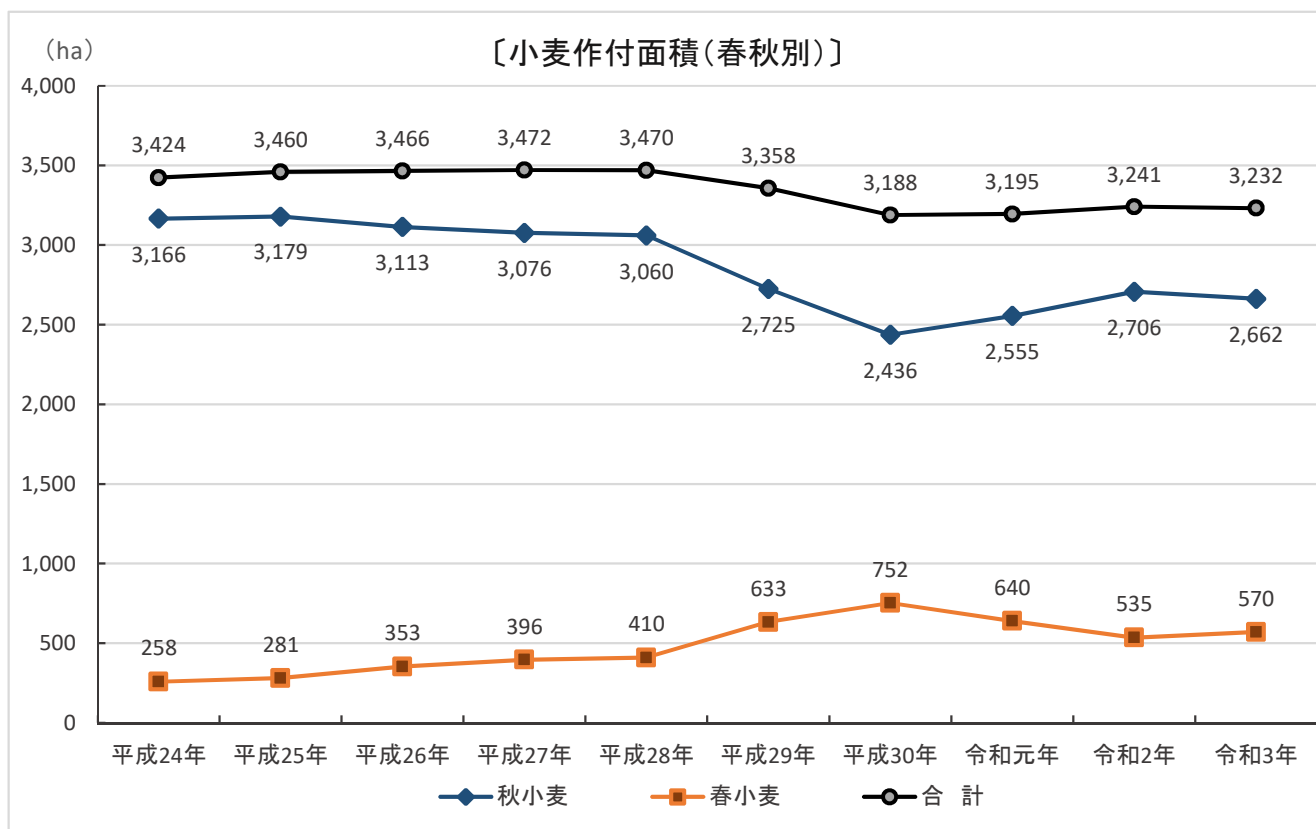
当別町産米の1等米比率は、平成30年産以降増加傾向で推移していましたが、令和3年産は減少となっています。

## 6 小麦作付面積(春秋別)

単位:ha

年産	区分	秋小麦	春小麦	合計
平成24年		3,166	258	3,424
平成25年		3,179	281	3,460
平成26年		3,113	353	3,466
平成27年		3,076	396	3,472
平成28年		3,060	410	3,470
平成29年		2,725	633	3,358
平成30年		2,436	752	3,188
令和元年		2,555	640	3,195
令和2年		2,706	535	3,241
令和3年		2,662	570	3,232

資料: 町農務課



当別町の小麦作付面積は、平成28年産から輪作体系推進の取り組みを行い、平成29年産、30年産は減少し、現在は横ばいとなっています。

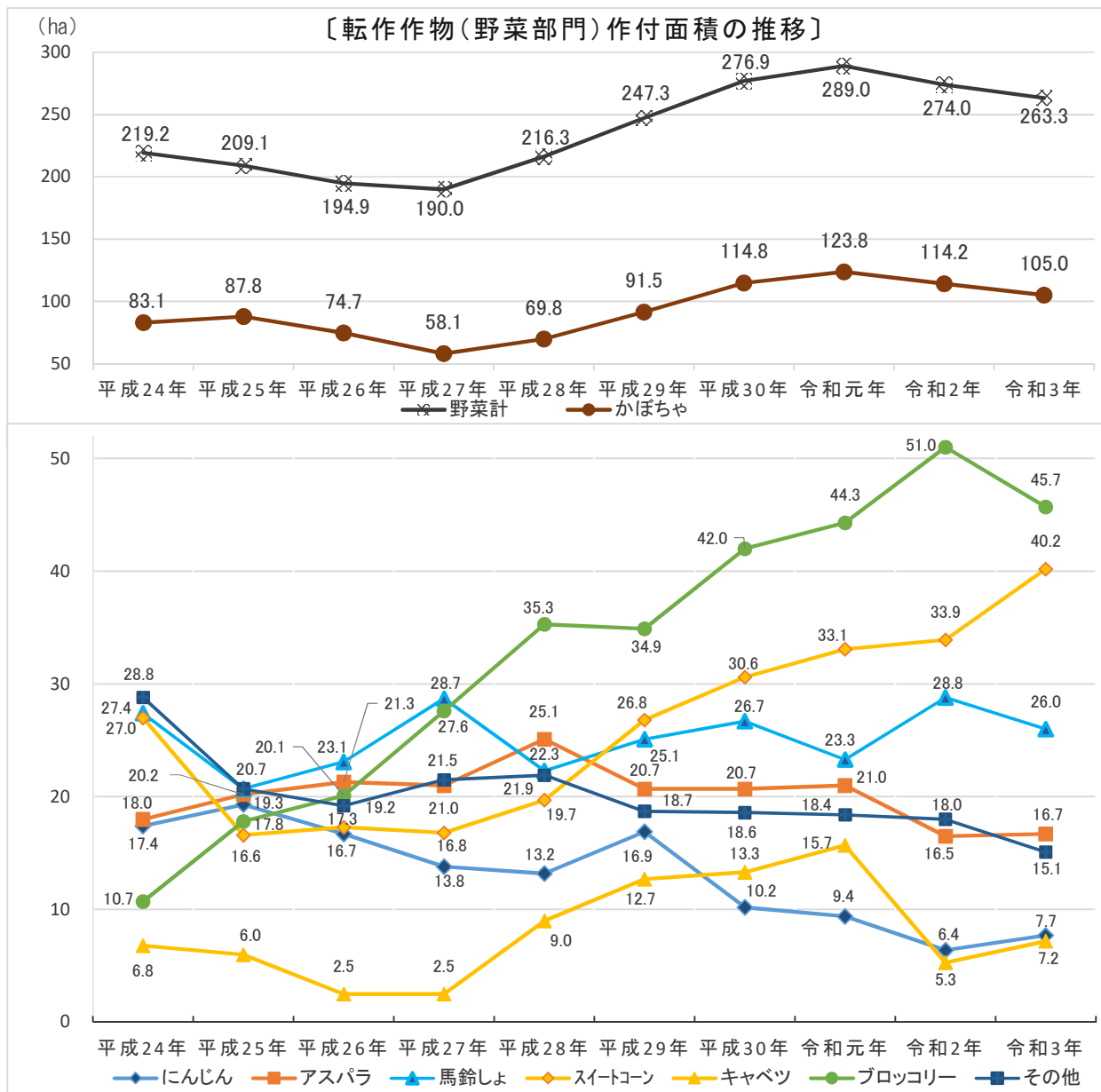
## 7 転作作物(野菜部門)の作付面積

単位:ha

種類	野菜計	かぼちゃ	にんじん	アスパラ	馬鈴しょ	スイートコーン	キャベツ	ブロッコリー	その他
平成24年	219.2	83.1	17.4	18.0	27.4	27.0	6.8	10.7	28.8
平成25年	209.1	87.8	19.3	20.2	20.7	16.6	6.0	17.8	20.7
平成26年	194.9	74.7	16.7	21.3	23.1	17.3	2.5	20.1	19.2
平成27年	190.0	58.1	13.8	21.0	28.7	16.8	2.5	27.6	21.5
平成28年	216.3	69.8	13.2	25.1	22.3	19.7	9.0	35.3	21.9
平成29年	247.3	91.5	16.9	20.7	25.1	26.8	12.7	34.9	18.7
平成30年	276.9	114.8	10.2	20.7	26.7	30.6	13.3	42.0	18.6
令和元年	289.0	123.8	9.4	21.0	23.3	33.1	15.7	44.3	18.4
令和2年	274.0	114.2	6.4	16.5	28.8	33.9	5.3	51.0	18.0
令和3年	263.3	105.0	7.7	16.7	26.0	40.2	7.2	45.7	15.1

資料:町農務課

※平成29年度から、スイートコーンに加工用スイートコーンを含む。



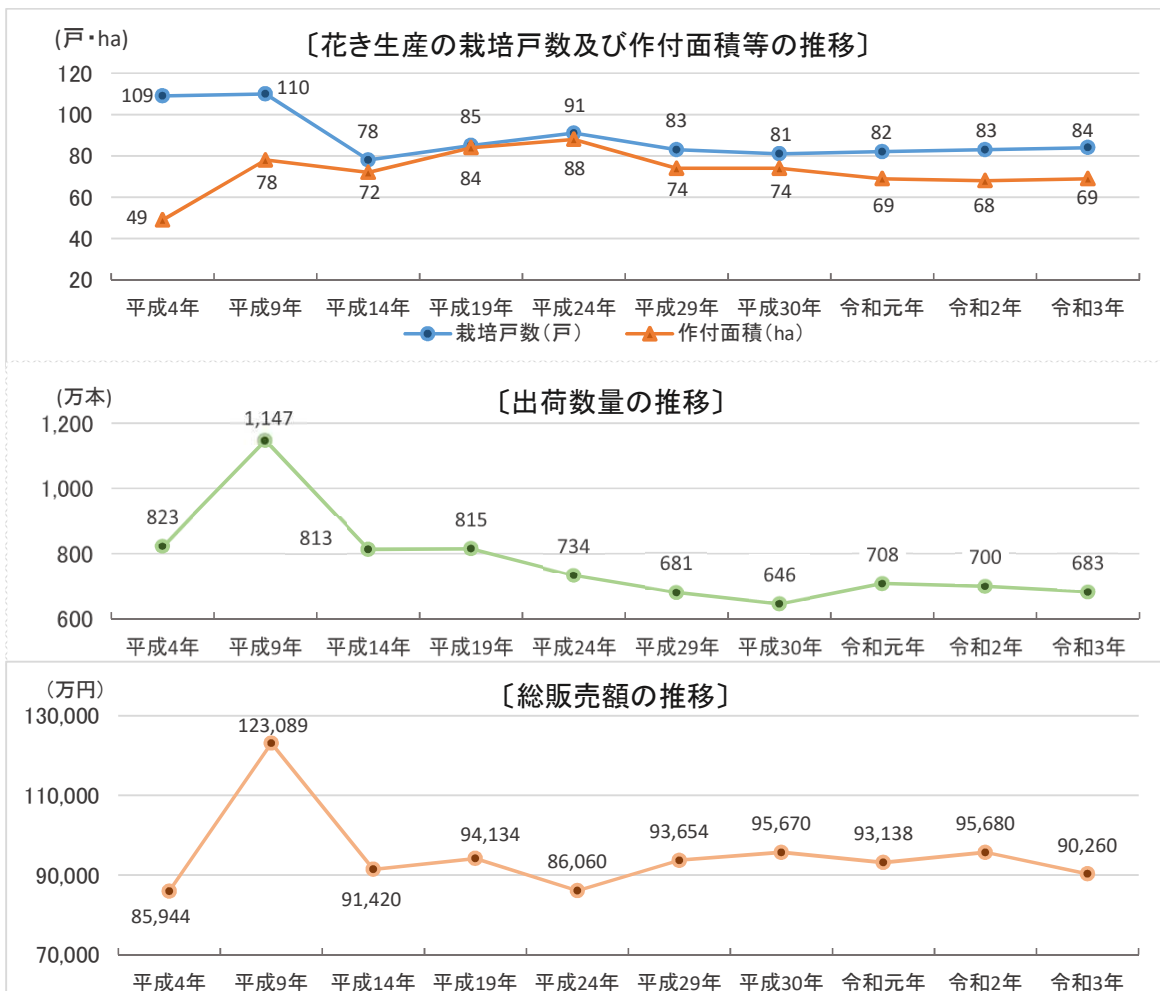
当別町の転作作物作付面積のうち野菜の作付面積は、令和元年をピークに減少となっています。  
令和3年の種別の作付面積は前年と比べると、にんじん、アスパラ、スイートコーン、キャベツが増加し、かぼちゃ、馬鈴しょ、ブロッコリーが減少となっています。

## 8 花き生産の概要

区分	年	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
栽培戸数(戸)		109	110	78	85	91	83	81	82	83	84
作付面積(ha)		49	78	72	84	88	74	74	69	68	69
出荷数量(万本)		823	1,147	813	815	734	681	646	708	700	683
総販売額(万円)		85,944	123,089	91,420	94,134	86,060	93,654	95,670	93,138	95,680	90,260

資料:町農務課

※平成27年から花き作付面積の算定方法が変更となっています。



栽培戸数は、平成28年以降横ばいとなっています。出荷数量、総販売額ともこの10年間横ばいの傾向となっています。

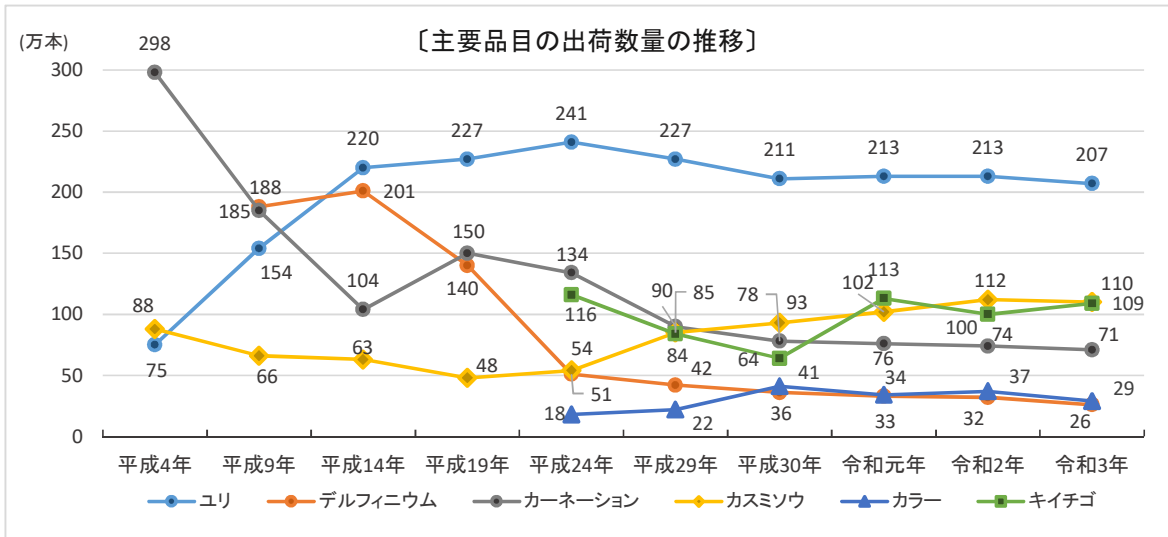
### (1) 主要品目の出荷数量

単位:万本

年	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
ユリ	75	154	220	227	241	227	211	213	213	207
デルフィニウム		188	201	140	51	42	36	33	32	26
カーネーション	298	185	104	150	134	90	78	76	74	71
カスミソウ	88	66	63	48	54	85	93	102	112	110
カラー					18	22	41	34	37	29
キイチゴ					116	84	64	113	100	109

資料:町農務課

※空白は、データなし



主要品目のうち、近年カスミソウ、カラーはほぼ横ばいの傾向となっています。カーネーション、デルフィニウムは減少傾向となっています。

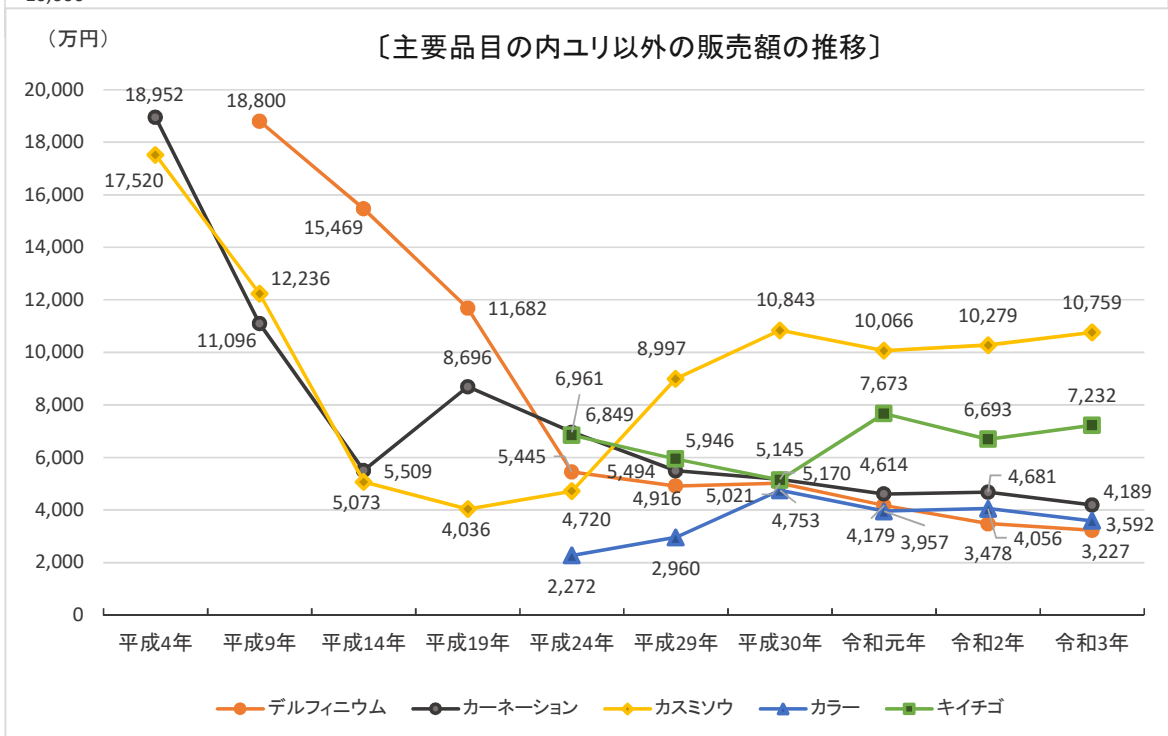
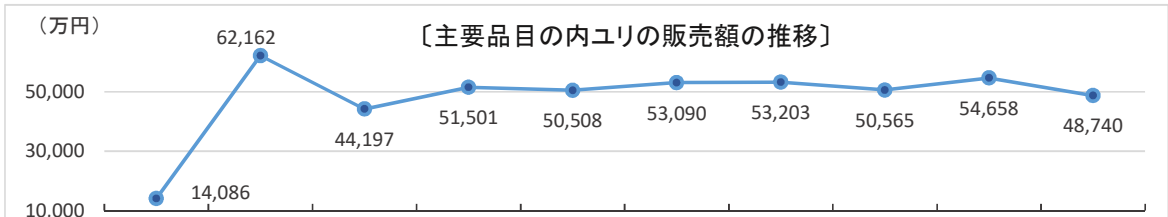
(2) 主要品目の販売額

単位: 万円

区分	年	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
ユリ		14,086	62,162	44,197	51,501	50,508	53,090	53,203	50,565	54,658	48,740
デルフィニウム			18,800	15,469	11,682	5,445	4,916	5,021	4,179	3,478	3,227
カーネーション		18,952	11,096	5,509	8,696	6,961	5,494	5,170	4,614	4,681	4,189
カスミソウ		17,520	12,236	5,073	4,036	4,720	8,997	10,843	10,066	10,279	10,759
カラー						2,272	2,960	4,753	3,957	4,056	3,592
キイチゴ						6,849	5,946	5,145	7,673	6,693	7,232

資料: 町農務課

※空白は、データなし



ユリの販売額は、平成22年以降5億円前後で横ばいとなっています。

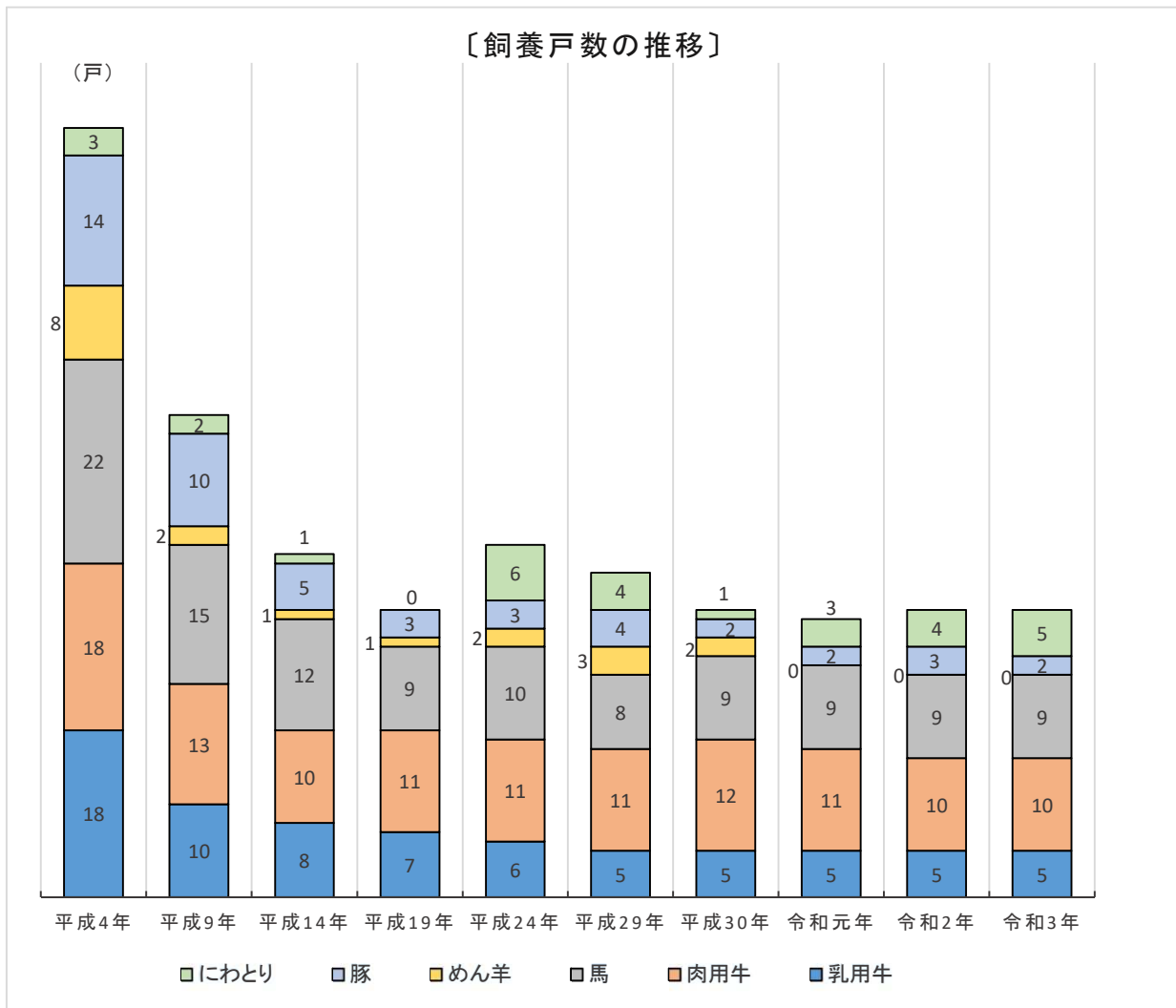
## 9 家畜飼養状況

### (1) 飼養戸数

単位:戸

年度 区分	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
乳用牛	18	10	8	7	6	5	5	5	5	5
肉用牛	18	13	10	11	11	11	12	11	10	10
馬	22	15	12	9	10	8	9	9	9	9
めん羊	8	2	1	1	2	3	2	0	0	0
豚	14	10	5	3	3	4	2	2	3	2
にわとり	3	2	1	0	6	4	1	3	4	5
合計	83	52	37	31	38	35	31	30	31	31

資料:町農務課



当別町の飼養戸数は、近年40戸弱から、30戸ほどに減少傾向となっています。

乳用牛、肉用牛の飼養戸数は、ここ10年横ばい傾向となっています。

めん羊の飼養戸数は、令和元年からゼロとなっています。

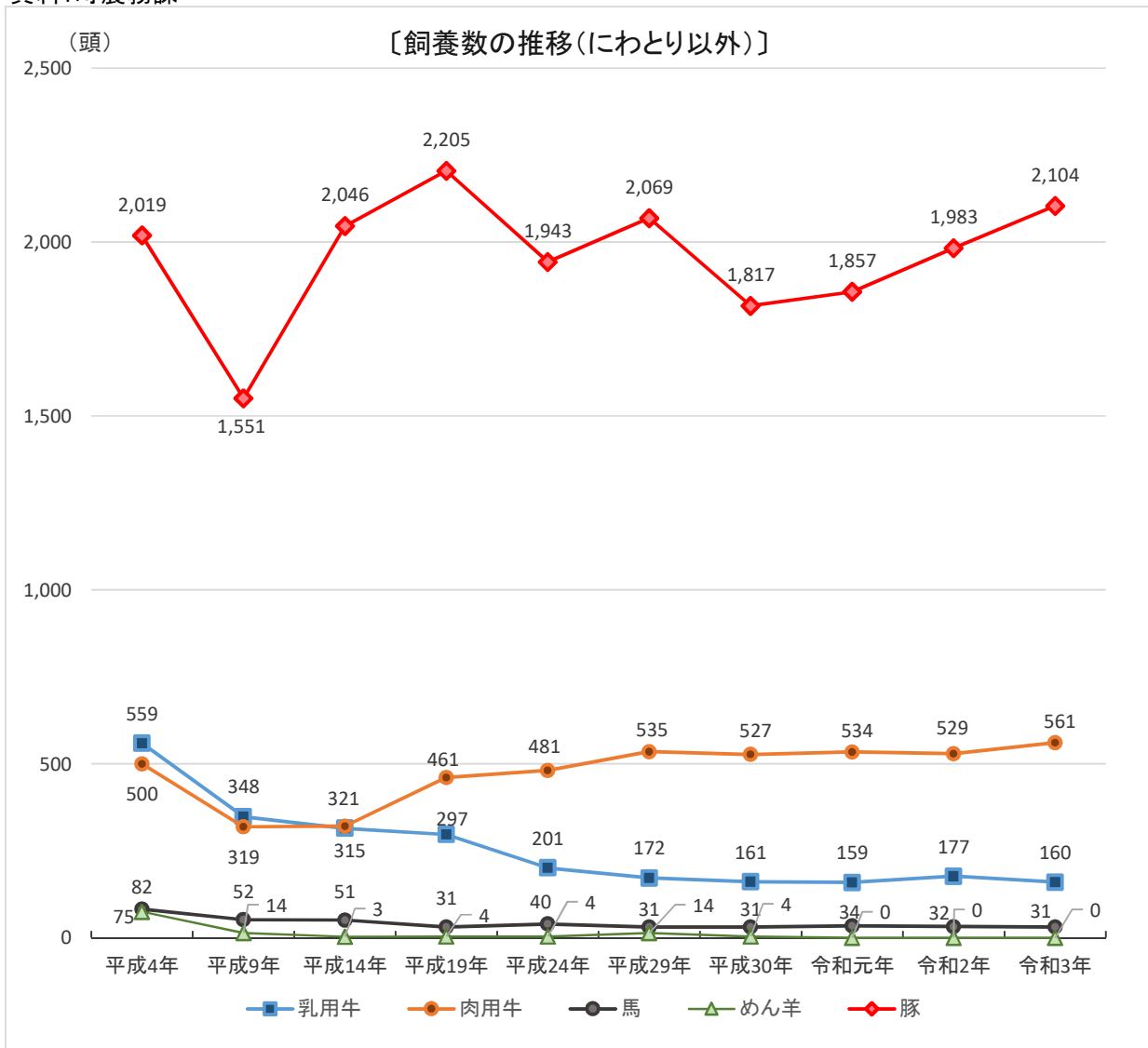


(2) 飼養数

単位: 頭・羽

年度 区分	平成4年	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
乳用牛	559	348	315	297	201	172	161	159	177	160
肉用牛	500	319	321	461	481	535	527	534	529	561
馬	82	52	51	31	40	31	31	34	32	31
めん羊	75	14	3	4	4	14	4	0	0	0
豚	2,019	1,551	2,046	2,205	1,943	2,069	1,817	1,857	1,983	2,104
にわとり	27,000	29,000	20,000	0	84	1,331	2,000	2,506	3,043	4,242

資料: 町農務課



肉用牛の飼養数は、平成29年からほぼ横ばいとなっています。

豚の飼養数は、近年平成30年を底に増加となっています。

乳用牛の飼養数は、平成29年から横ばいとなっています。

## 10 農業産出額の状況(農林水産省推計値)

### (1) 耕種、畜産、加工農産物

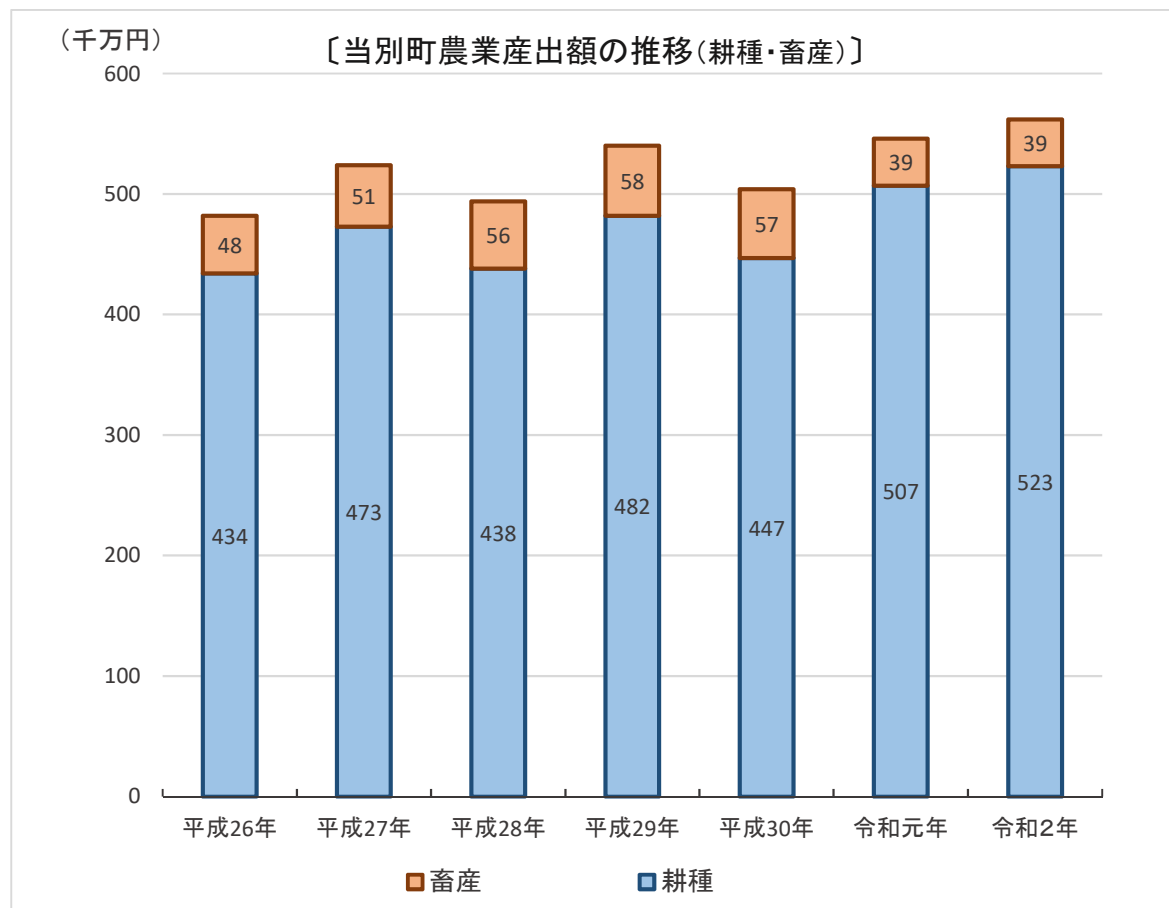
単位: 千万円

区分	年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
耕種	米	172	179	180	188	169	183	184
	麦類	47	69	47	59	45	75	79
	雑穀	0	0	0	0	0	0	0
	豆類	27	28	20	29	28	31	29
	いも類	6	7	8	8	6	5	7
	野菜	68	75	72	70	75	81	92
	果実	1	1	1	1	1	1	1
	花き	106	107	104	118	115	X	X
	工芸農作物	4	4	3	6	6	6	7
	その他作物	3	3	3	3	2	X	X
畜産	肉用牛	11	13	16	16	16	16	14
	乳用牛	20	22	24	25	25	8	8
	豚	17	16	16	17	16	16	X
	鶏	-	-	-	-	-	-	-
	その他畜産物	-	-	-	-	-	X	X
合計		482	522	491	539	504	546	561

資料: 農林水産省

※表示単位未満四捨五入のため、内訳の合計が計と一致しない場合があります。

※秘密保護の観点から、統計数値を公表していないものについては「X」で表示しています。



## 11 鳥獣被害の状況

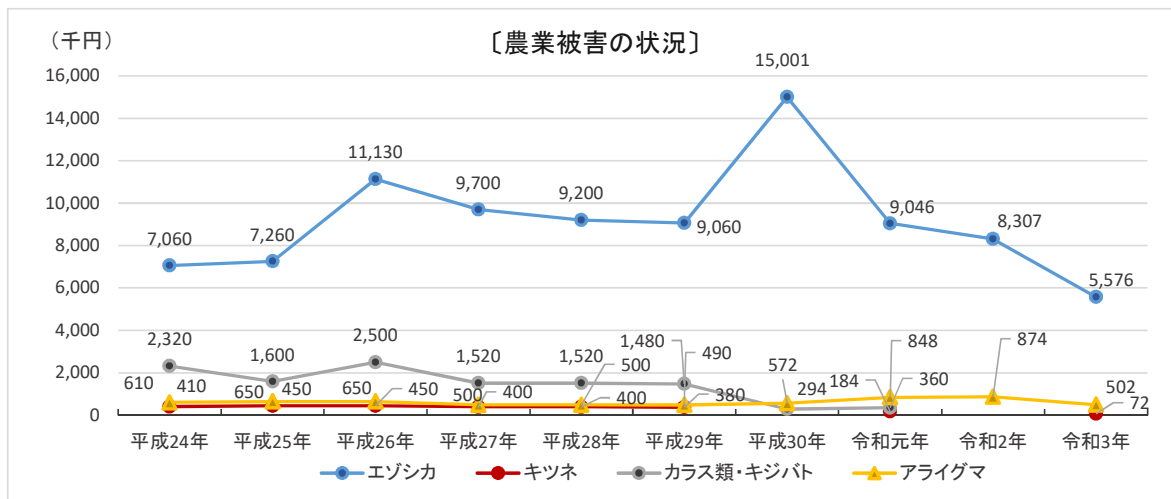
### (1) 農業被害の状況

単位:千円

区分	年度	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
エゾシカ		7,060	7,260	11,130	9,700	9,200	9,060	15,001	9,046	8,307	5,576
キツネ		410	450	450	400	400	380		184		72
カラス類・キジバト		2,320	1,600	2,500	1,520	1,520	1,480	294	360		
アライグマ		610	650	650	500	500	490	572	848	874	502

資料:町農務課

※空白は、確認している被害がありません。



### (2) 有害鳥獣の捕獲状況

単位:頭・羽

区分	年度	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
エゾシカ		63	51	80	122	102	74	63	59	45	73
キツネ		1	8	11	4	3	0	0	0	2	1
カラス類・キジバト		19	15	16	10	0	0	0	0	11	2

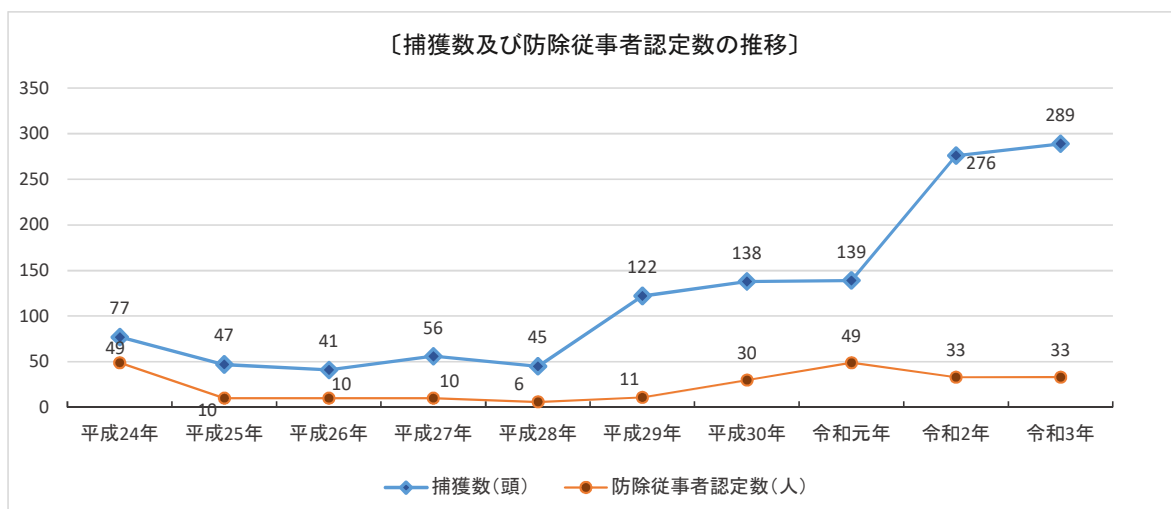
資料:町農務課

※アライグマは、特定外来生物により別掲

### (3) アライグマ捕獲数及び特定外来生物防除従事者認定数

区分	年度	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	合計
捕獲数(頭)		77	47	41	56	45	122	138	139	276	289	1,230
防除従事者認定数(人)		49	10	10	10	6	11	30	49	33	33	241

資料:町農務課



当別町のアライグマ捕獲数は、平成29年度以降100頭を超えて以来急速に増加し、令和3年度は、300頭に迫る捕獲頭数となっています。アライグマ防除従事者認定数は、捕獲数の増加に合わせて増加傾向となっています。

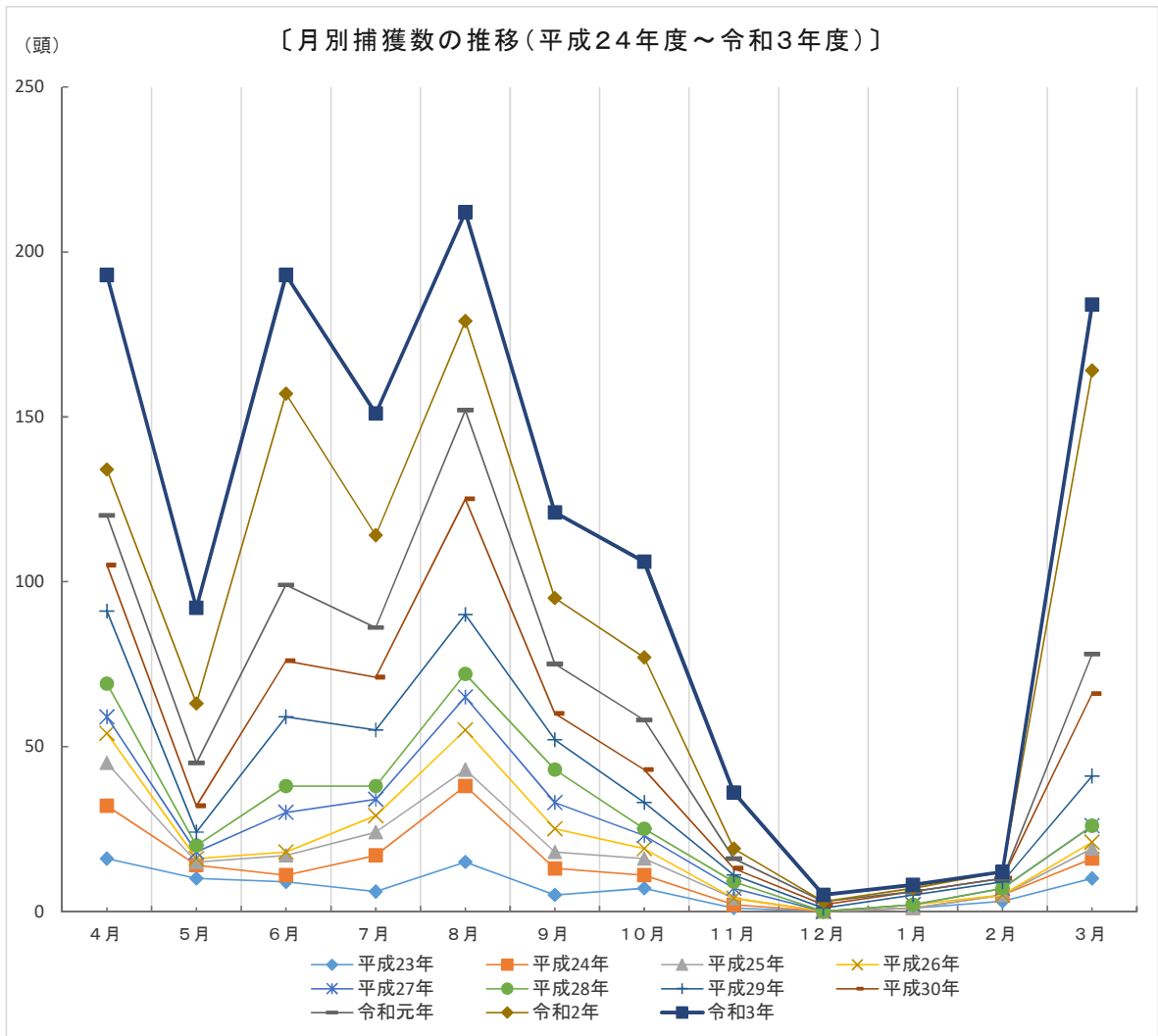
(4) アライグマの月別捕獲数

単位:頭

月	年度	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	合計
4月		16	13	9	5	10	22	14	15	14	59	177
5月		4	1	1	2	2	4	8	13	18	29	82
6月		2	6	1	12	8	21	17	23	58	36	184
7月		11	7	5	5	4	17	16	15	28	37	145
8月		23	5	12	10	7	18	35	27	27	33	197
9月		8	5	7	8	10	9	8	15	20	26	116
10月		4	5	3	4	2	8	10	15	19	29	99
11月		1	2		3	2	2	2	3	3	17	35
12月							1	1	1		2	5
1月				1			3	1		1	1	7
2月		2			2		2	1		2		9
3月		6	3	2	5		15	25	12	86	20	174
計		77	47	41	56	45	122	138	139	276	289	1,230

資料:町農務課

※空白は捕獲なし



月別の捕獲状況は、8月が一番多く、次いで6月、4月、3月の順となっています。

## 12 民有林資源構成表

単位: ha

区 分		植栽～15年	16年～30年	31年～50年	51年～	無立木地	総 数
人工林	カラマツ	19.93	14.75	4.40	218.30	0	257.38
	トドマツ	140.24	122.48	1,108.45	1,038.67	0	2,409.84
	その他	71.37	135.00	33.01	15.23	0	254.61
	計	231.54	272.23	1,145.86	1,272.20	0	2,921.83
	広葉樹	65.79	30.21	7.71	8.97	0	112.68
天 然 林		0.13	84.55	610.74	9,668.30	0	10,363.72
立 木 地 計		297.46	386.99	1,764.31	10,949.47	0	13,398.23
合 計		297.46	386.99	1,764.31	10,949.47	296.98	13,695.21

### 無立木地内訳

区 分		面 積	単位: ha
伐採跡地	天伐跡	27.98	
	人伐跡	40.41	
	計	68.39	
未立木地		228.59	

資料: 令和2年度北海道林業統計 ※令和4年3月現在

## 13 森林面積及び蓄積

所有区分	面 積 (ha)					蓄 積 (千m <sup>3</sup> )		
	計	天然林	人工林	無立木地	その他	計	針葉樹	広葉樹
森林管理局所管国有林	(58)		(49)		(9)	(7)	(4)	(3)
	2,556	1,531	936	—	89	320	166	155
その他国有林	15	15	—	—	—	0	—	0
道 有 林	10,350	7,400	2,891	60	—	1,308	795	512
市 町 村 有 林	1,505	1,096	401	7	—	205	107	98
私 有 林 等	12,190	9,268	2,633	290	—	1,588	552	1,035
計	26,616	19,310	6,861	357	89	3,421	1,620	1,800

資料: 令和2年度北海道林業統計

※ 国有林の( )は官行造林地で内数である。

※ 単位未満を四捨五入して表示しているため、総数と内数の計が一致しない場合があります。

### **当別町経済部農務課**

〒061 - 0292 北海道石狩郡当別町白樺町 58 番地 9

TEL : (0133) 23 - 2330 (代表)

**農務係** (直通) (0133) 23 - 3091 (内線 324・325・328)

**耕地係** (直通) (0133) 23 - 3096 (内線 326)

### **当別町経済部ゼロカーボン推進室**

〒061 - 0292 北海道石狩郡当別町白樺町 58 番地 9

**林政係** (直通) (0133) 27 - 5089 (内線 343)